

「地域人になるう」が行われました

これから地域活動を始めるかたや現在地域活動を行っているかたを対象に防犯、国際交流、福祉の各分野で、ボランティアやNPO、地域活動を体験できる講座として開催しました。

実際に活動を体験することで、いろいろなかたと交流を持つことができ、また、受講生がこの体験講座を通して、自分自身を振り返り、地域で何ができるかを考えるきっかけになったようです。

●受講生の感想（抜粋）●

防犯パトロール
（小久喜・三光区）

「自分たちの地域は自分たちで守る」

実際に地域を歩いて見回ると、地域の様子が変わったことがないかを観察し、犯罪を未然に防ぐパトロール活動を体験



しました。

防犯パトロール活動を通じて安全・安心を守りながら、地域住民との交流の場として、顔が見える「コミュニケーションが活発に行われていることを感じました。

「日本語教室」
指導補助
（白岡国際交流会）

「外国のかたが地域で安心して暮らせるように」

町内在住の外国人のかたを対象に日常生活で使える日本語を教える体験をしました。

外国のかたが安心して暮らすためには、このボランティア活動がたいへん重要であり、地域のコミュニケーションづくり役立っていることを体験して初めて知りました。

ボランティアのスタッフのかたが優しく熱心に日本語を教えるだけでなく、外国のかたの心のサポート役になっていることを感じました。また、外国のかたの学ぶ意欲の高さに驚かされました。



福祉体験
（NPO法人みのり）

「障がいのあるかたが

自分らしく生きていくことをサポートする」

心身障がい者の地域・デイケアと生活サポートを行っているNPO活動を体験しました。

NPO法人を設立するきっかけや運営にいたるまでのお話は、これから地域活動を行ううえでたいへん参考になりました。

さらに、スタッフによる施設利用者の介護方法なども実習を通して教えていただきました。



「子育て中のかたをサポートします」
（白岡町母子愛育会）

「子育て中のかたを」

地域での子ども見守りや季節のイベントを通して子育て支援を行う会員数現在262名という大きな組織です。

今回はイベントの「節分豆まき」で受付を手伝ったり、鬼に扮して子どもたちとのふれあ

を楽しんで体験しました。

会員のかたが自信と目標を持ってイベントを支え、生き生きとしている姿に「ボランティア」の原点を見た気がします。

現在は、女性会員しかいない中で、貴重な体験をさせていただくことができました。



「節分豆まき」の様子は11ページの「シャッターチャンス」のコーナーにもあります。

講座受講生の受け入れにご協力いただいた4団体のみなさま、ありがとうございました。

担当
町民活動推進課 住民協働担当
（内線352・353）

あなたの「きっかけ」を後押しする課

今後の事業展開の参考とさせていただきますので、あなたの声をお聞かせください。